

【科目名】4. みどりと健康活動のための医療・福祉		
【期 別】 通年	【区 分】 必修	【種 別】 講義
【単位・コマ数】 4単位・30コマ	【時間数】 45	
【主任教員】 ○ 劔持 卓也 (10)		
【分担教員】 ○ 田崎 史江 (9)、宮地 尚子 (3)、北岡 裕也 (2)、小田 陽彦 (2)、加藤 隆児 (3)、原 瑠美 (2)、中井 秀昭 (2)、濱田 聖貴 (2)、荒井 喜美 (1)、淡路市保健師 (1)		
【授業のねらい】 みどりと健康活動、園芸療法の対象となる人に多い疾患とその患者の生活や心理を理解する。アセスメントに必要なICFを理解する。治療やケアだけではなく、予防や健康維持の取り組みを学び、みどりと健康活動の対象者に必要な取り組みとは何かを考えられるようになる。		
【日程】	【担当教員】	【授業予定】
4/11 (土) 1-2限	田崎・劔持	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりと健康活動の対象者を理解する ・国際生活機能分類 (ICF) の特徴 ・私たちの生活をICFにあてはめて考えてみよう ・みどりと健康活動の対象者の観察法 (ウォッチングリスト)
5/9 (土) 1-2限	田崎・劔持	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉の基礎用語：身体構造・心身機能、みどりと健康活動の対象となりうる人のおもな疾患とその特徴、薬の検索、病院・社会福祉施設の種類の種類、医療福祉分野の職種、医療福祉の制度等 ・みどりと健康活動指導士の倫理 ・安全管理と衛生管理 ・免疫機能と感染症予防
6/13 (土) 1-2限	濱田	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の基礎：定義、疾患の種類と基礎的特徴 ・高齢者施設利用者に対するケアと植物 ・車椅子の操作、歩行介助体験
6/27 (土) 1-2限	小田	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する応用的な学習：発症のしくみと予防の考え方、生活・心理の支援と行動・心理症状の予防と軽減 ・みどりと健康活動の活用：行動・心理症状のある認知症患者の支援を考えよう
7/11 (土) 3-5限	宮地	<ul style="list-style-type: none"> ・トラウマとは何か ・トラウマ、心の傷つきによって何が起きるか ・環状島モデルの紹介 ・心のケアに大事なこと ・トラウマからの回復とみどり 心の傷を「耕す」ということ
9/12 (土) 3-5限	加藤 【予習課題あり】	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病：特徴、発症のしくみ、生活・心理、予防と支援 ・みどりと健康活動の活用：生活習慣病の予防や患者の支援を考えよう
9/26 (土) 1-2限	中井	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中と脳外傷、高次脳機能障がい：障がい像の理解と支援の考え方 ・みどりと健康活動の活用：高次脳機能障がい者の支援を考えよう ・医療・介護領域における農福連携
10/10 (土) 3-4限	北岡 【予習課題あり】	<ul style="list-style-type: none"> ・国際生活機能分類 (ICF) の特徴 (作成の経緯、因子の内容、障がいのとらえ方) ・ICF分類の実際：事例を通してICFを考えてみよう
10/10 (土) 5限	田崎	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障がい：障がい像の理解と支援の考え方 ・みどりと健康活動の活用：身体障がい者の支援を考えよう

10/24 (土) 1-2限	田崎・剣持	<ul style="list-style-type: none"> ・老年医学：身体生理と病理、生活・栄養・心理、嚥下、支援 ・みどりと健康活動の活用：高齢者（認知症除く）の支援を考えよう
11/7 (土) 1限	荒井	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における健康維持活動の重要性 ・健康日本21が目指すもの ・健康ひょうご21県民運動の具体的な取り組みについて
11/7 (土) 2限	淡路市健康福祉部 保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防（フレイル予防）の具体的な取り組み ・認知症予防の取り組み ・子育て支援の取り組み ・地域保健、健康づくり推進の具体的な取り組み
12/12 (土) 1-2限	原	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい：特徴、生活・心理、支援（SSTを含む） ・みどりと健康活動の活用：発達障がいがある人の支援を考えよう
1/9 (土) 1-2限	剣持	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患：特徴、発症のしくみ、生活・心理、支援 ・みどりと健康活動の活用：メンタルヘルス維持のための活動 ・試験
1/23 (土) 3-5限	田崎・剣持	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりと健康活動のための医療・福祉のまとめ
【予習課題】	北岡	<ul style="list-style-type: none"> ●10/10 (土) 3-4 限 「ICFの理解と活用第2版入門編」p7～p56、「ICF国際生活機能分類」まえがき・序論を読んで授業に臨むこと
	加藤	<ul style="list-style-type: none"> ●9/12 (土) 3-5 限 購入図書に記載されている生活習慣病の中で興味があるものを取り上げ、その疾患に対するみどりと健康活動の活用について考えた上で授業に臨むこと
【購入図書】	宮地	<ul style="list-style-type: none"> ・トラウマ、宮地尚子、岩波新書、2025年
	北岡	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFの理解と活用—第2版入門編、上田敏、きょうされん、2021年
	小田	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防専門士テキストブック改訂版、日本認知症予防学会（監修）、徳間書店、2017年
	加藤	<ul style="list-style-type: none"> ・健診・健康管理専門職のための新セミナー生活習慣病 第3版、田中逸、日本医事新報社、2025年
【参考図書・HP】	剣持	<ul style="list-style-type: none"> ・最新介護福祉士養成講座13 認知症の理解 第2版、中央法規出版、2022年
	中井	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸作業療法ガイドブック 園芸×作業がWell-beingな未来を創る、クリエイツかもがわ、2025年
	小田	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的認知症診療5Lessons、小田陽彦、シーニュ、2018年 ・毎日新聞医療プレミア 知って欲しい「認知症の大事な話」 https://mainichi.jp/premier/health/ ・高齢者への精神科の薬の使い方、小田陽彦、洋學社、2021年
【成績評価の方法】	1/9に実施する試験にて行う。	
【受講生への連絡・希望】	田崎 剣持	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目で学ぶ内容は各分野の概要となるため、自分が活動を検討している領域については自身でさらに学びを深めていくことを期待します ・講義に関する質問や確認があれば、教員（田崎・剣持）宛にメールで送ってください <p>件名：【みどりと健康活動のための医療・福祉】質問：・・・について</p>